

福祉サービス第三者評価 救護施設版自己評価シート

①基本情報

◆①基本情報（本シート）、②自己評価シート（共通評価基準）、③自己評価シート（内容評価基準）をご記入ください。

【基本情報】

①施設・事業所情報

名称：滋賀保護院	種別：救護施設
代表者氏名：所長 中岡浩一	定員（利用人数）：１００名
所在地：大津市本宮二丁目６番４５号	
TEL：０７７－５２２－４９６０	ホームページ：http://www.ex.biwa.ne.jp/~sigahogoin
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日 昭和２８年６月１日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 滋賀同仁会	
職員数	常勤職員： ２８名 非常勤職員 １１名
専門職員	（専門職の名称） 看護師１名・准看護師１名 医師２名
	管理栄養士１名
施設・設備の概要	（居室数）２７ （設備等）
	居室・静養室・食堂・浴室・洗面所・便所・医務室・事務室・宿直室・洗濯室・調理室・集会所兼作業室・ワーカー室・面会室・倉庫・リネン室・研修室・更衣室 エレベータ

②理念・基本方針（施設運営方針）

- １ 私たちは、利用者の基本的人権を尊重し、自立支援に向けた個別サービスの提供に努めます。
- ２ 私たちは、利用者本位の立場で、笑顔を忘れず、安心・安全・快適なサービスの提供に努めます。
- ３ 私たちは、常に目標・ビジョンを持ち、継続的に業務改善に取り組み、自己改善に取り組み、自己改革・自己実現を目指します。
- ４ 私たちは、地域社会との関わりを重視し、利用者の社会参加への意欲向上に努めます。

③施設・事業所の特徴的な取組

１ 最後のセーフティネット施設として、施設の空き情報の提供など、救護施設の状況を発信するとともに、多様な困難を抱えた方を積極的に受け入れます。 ２ 救護施設としてのこれまでの実績とノウハウを生かし、個々の利用者に応じた個別支援計画に基づく自立支援や他施設への移行を進めるとともに、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めます。 ３ 行事・イベントを地域との交流を図りながら開催し、利用者の日中活動の充実と健康面や嗜好に応じた食事の提供、健康状態を維持、改善できるよう適切な対応を行い、安定した施設生活がおくれるよう取り組みます。 ４ 循環型施設としての強化を図るため、居宅生活訓練や就労訓練を行い、自立の促進を図ります。 ５ 退所者支援として、通所・訪問事業を実施し、安定した地域生活が出来るよう支援を行い、「たまりばクラブ」を通して居場所づくりを行い、支援の輪を広げます。 ６ 日常業務の見直しや専門知識の習得など、職員の資質向上と自己研鑽を支援するとともに、SNS等を活用した施設の見える化を進め、人財の確保に努めます。 ７ 自然災害発生時、新型コロナウイルス感染症等発生時における業務継続計画により、不測の事態に対応できるよう必要な訓練の実施と計画の見直しを行います。 ８ げんき広場の積極的な活用と老朽箇所の改修による施設の長寿命化、入所者確保、感染症対策に繋がる改修、内職作業、木工作业等を行える場所の確保の検討、施設、設備の将来的な方向性（改築、大規模改修）について、検討するとともに、必要な資金の積み立てを計画的に行います。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間 NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ 滋賀福祉調査センター	２０１９年１１月２１日（契約日） ～ ２０２０年 ２月２０日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	１回（２０１９年度）

【自己評価の実施】

①担当者

中岡

②自己評価の実施体制等

幹部会（所長・副所長・介護長・主任（５名）・栄養士）による合議。（業務担当者へのヒアリング実施）

③課題等

自己評価を実施したうえで全体に関する課題や疑問などがありましたらご自由にお書きください。

質問項目に対して、施設独自の方法で取り組んでいるものの、マニュアル化されていないこともあり、出来ていると評価していいのか、迷うことがある。